

# あいめーる

WINTER

## 愛隣館通信

平成 30 年 1 月 25 日発行  
発行  
社会福祉法人 愛隣園  
障害者支援施設 愛隣館  
発行責任者 三浦貴子  
編集 広報チーム  
キャリアビジョン

〒861-0551  
熊本県山鹿市津留 2022  
TEL 0968-43-2771  
FAX 0968-43-2793  
http://aileans.com  
E-mail  
ailinkan@magma.jp



側溝の砂上げ清掃：熊本県防衛協会、中嶋市長（左から三人目）、三浦理事長（左から五人目）

また、今回参加した子供達も、自衛隊活動や、福祉施設で暮らす障害者の方に対する理解が深まる事を期待いたします。

熊本県防衛協会・山鹿支部より青少年育成事業として、支部長の中嶋山鹿市長をはじめ、自衛隊員、防衛協会、山鹿市の小学生（計約三十名）が、清掃ボランティアに来館されました。

小学生の皆さんには、施設内の窓拭きのあと、2メートルの高さのクリスマスツリーに飾りつけをしていただきました。

自衛隊の皆さんからは「普段出来ないような作業を何でも云ってください」と嬉しいお申し出。食堂の一番高い場所の窓拭きと、長年側溝にたまった大量の砂を、約三〇メートルにわたり除去する作業をして頂きました。中嶋山鹿市長、三浦理事長達の参加もあり、側溝はスッキリ蘇りました。

デイ玄関前では、強くて頑丈そうな軽装甲機動車が二台展示されました。ボランティアの小学生、愛隣園の児童や愛隣館の利用者の方は興味深々で車輛の見学や説明のパネルに見入れられ、中には、運転席に座り、誇らしげな笑顔をされる姿も。今回の事業で、屋内外たいへん綺麗になりました。ありがとうございました。



自衛隊展示車輛の前で

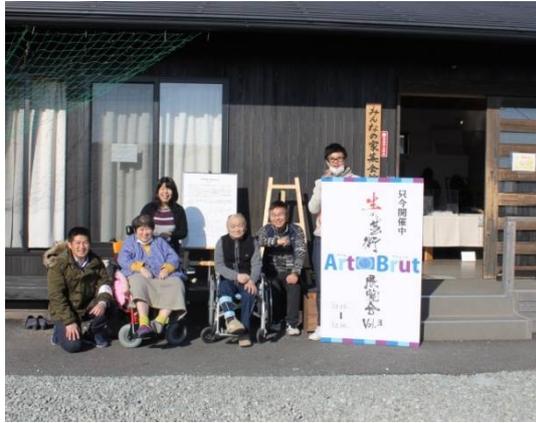
熊本県防衛協会  
山鹿支部青少年育成事業  
サニビス管理責任者 田中 裕一

館長 二浦貴子

平成三十年、温かい元旦を入居者の皆様と共に迎えることができ感謝申し上げます。

冬号  
法人の四施設では、三十一日から各厨房が腕によりをかけて、それぞれにおせち料理を作ります。児童養護施設の三才児から特養の104才の方まで、おひとりおひとりが召し上げられる形態で準備を整え、楽しんで頂きました。愛隣館の利用者の方も、おせちの後には、近くの彦岳宮へ初詣。穏やかなお正月を過ごされました。

あいまーる 平成30年(2018年)  
通信隣愛  
城南町舞原仮設住宅のみんなの家(集会所)にて、「生の芸術



ポール・ブリュット移動美術館」を開催し、二百三十七名がご来観。

熊本市社協支え合いセンターの下地さんや自治会長さんと連携し、仮設住民の方々に、作品展示と栗ぜんざいのふるまいを喜んで頂きました。そして、近隣のくまむた荘と関連施設、城南学園

等の皆さまも、多数ご来場下さいました。ご来場者の中には、愛隣館を始めた二十代の頃の私を知って下さる、くまむた荘職員OBの方々が声をかけあって来られ、感激いたしました。地震被災の大きかった地域には、まだお見舞いも申し上げていない知人がいることを痛感させられています。

また、仮設住宅で子育て中の若いお母さんが、作品に添えられた、作家と作品の説明「キャプション」を全て丁寧に読まれました。外でぜんざいをお渡しした時、「色んなことにも疲れていました。でも作品から、ありのままがいいよと教えられて・・・」と涙されました。仮設での移動美術館を通して、静かな支援の大切さを感じています。

★ 新しい仲間 ★



入居者

立石 裕一朗

十五年間愛隣倶楽部に通所でお世話になりました。毎日、倶楽部の皆さんと楽しく過ごしながらも、その間ショートステイを利用して頂いたので施設にも慣れ、入居の皆さん、職員の方々とも顔見知りになっていたようです。

十月十日、入居がきまり「大丈夫だろうか」と心配しておりました。我が家に居る時は、喜怒哀楽が激しく、倶楽部でも幾度となく怒っていました。

入居して、職員の方々や入居の皆さんに迷惑かけないだろうかと案じておりました。

でも、施設の皆さんに声をかけて頂き、仲良く接して下さり、裕一朗も新しい仲間と「ニコニコ笑顔」その姿を見て「ホッ」と安心しました。今後とも宜しくお願いします。



入居者

緒方 義信

(家族より)

十一月一日よりお世話になっています緒方義信です。

バイク事故で、寝たきりの生活になり十年間リハビリを経て愛隣館に来ました。

中々の人見知りですが、初対面の方とのコミュニケーションが不慣れですが、まずは、全力でスタッフの名前を憶えて徐々に、愛隣館に慣れていきたいと思っています。

今は、傷の関係でベット上で動けませんが、パソコンでSNSやネットショッピング等で楽しんで過ごしています。

今後は、傷を治し車イスで館内を回れるようになりたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

(聞き取り…広報部)



デイケア利用

吉田 美紀

皆さん初めまして、九月よりデイケアでお世話に

なっている吉田美紀です。  
毎週水曜日の利用です。週一回の利用ですが、手芸の中村先生に教えてもらいながら毛糸の帽子を編みました。

デイの職員さんは、とても優しいので楽しく過ごしています。

他にも、デイの年末の一日外出にも参加してとても楽しかったです。これから色々な行事にも参加して行きたいです。

まだ少し、緊張するので一日も早く慣れて皆さんと仲良くしたいです。  
宜しくお願いします。

(聞き取り：広報部)

### 新人職員紹介



ケア課

中田 有美

十月二日より愛隣館生活サービス部二号館でお世話になっていきます中田有美です。愛隣館に勤め始めてもうすぐ三ヶ月が経とうとしています。入居者の方との会話やスタッフのみなさんと関わる事が楽しくて一日一日があっという間に終わる気がします。

私は以前は美容室に勤めていました。職種も全然違つし、介護という仕事も初めてで最初は不安でしたが、色々な方に声をかけて頂いて少しずつ仕事を覚えることができています。

まだまだ覚えることは沢山ありますが、笑顔を忘れず精一杯頑張ります。これからもよろしくお願ひします。

### 丸太トライアスロン大会

ケア課

池松 知京

ちひろ

私は、十一月十九日(日)に開催されました鹿北祭りの丸太トライアスロン大会に参加してきました。

メンバーは、福山、隈部、清水、竹下、松永、池松の六名でした。

まず、予選がAパートからEパートで各四チームずつに分かれ、丸太のダーツと丸太のボーリングを行い上位一チームずつが決勝へ進むという流れで、私達のチームは何とか逆転し、決勝へ進む事が出来ました。決勝では、毎年恒例の丸太切りでした。丸太切りは、制限時間十分で、三十秒ずつ交代で切るといふもので、とても過酷なものでしたが、チームワークで乗りきり、優勝する事が出来ました。とてもきつかったですが、いい汗をかき、一つのチームとして団結出来たので良かったと思ひ



ます。

### デイケア大分一泊旅行

デイケア利用

下川 龍次

十一月七日(火)から八日(水)の「大分一泊旅行」に初めて参加しました。(利用者十六名、職員十二名)

車内では、ベテランガイドの名調子で観光地の説明を受け、旅の仲間と談笑。三愛レストハウスでランチ、くじゅう花公園内で高原のお花畑を散策。私は園内の温室エリア・アンティルがとても良かったです。英国庭園風な空間にカラフルなお花が私たちをお出迎え。ミルク濃厚なアイスも絶品。

別府では鉄輪温泉、おにやまホテルに宿泊。ホテル側のご配慮で貸切風呂を使わせてもらい、職員のお介助で別府のぬるぬる湯とおいしい食事を堪能しました。何はともあれ、健康、無事故で愛隣館に戻れた事が一番のおみやげでした。利用者、職員皆さん、有難うございました。



くまもと障がい者芸術展

デイケア

藤井 優子

十月三日(火)から十月九日(月)にかけて熊本県立美術館分館にて「くまもと障がい者芸術展」が開催されました。

今年は、愛隣館からも、五十八名の利用者の方が出展されました。作品は、陶芸、手芸等様々な作品があり、ユニークな作品だったり、とても手が込んでいる作品ばかりで、皆さんすごく手間暇かけられたんだなあと思いました。

また、デイケア御利用の高根英子さん(写真)が工芸の部に、「幸せ家族」の陶芸作品を出展され、心に残ったハートウィーク賞を受賞されました。高根さんは、頭にあるイメージで作った、苦労もしたが、楽しく作ったと話しをされ、来年のイメージも考えていると話させておられ意欲的で素晴らしいと思いました。ぜひ、来年も芸術展を見学に行きたいと感じました。



ハートウィーク賞：作品名「幸せ家族」

法人愛隣園クリスマス集い

十二月二十四日(日)、愛隣館にて恒例のクリスマス集いが開催され、入居者をはじめ利用者やご家族など多数参加されました。

館内は全館クリスマス一色に飾り付けがなされ、午後三時半からディナーが始まりました。

三浦貴子館長の挨拶につづき、三浦牧子名誉理事長よりご挨拶をいただき、九月に入居された後藤雅子さんの乾杯の音頭で会食が始まりました。テーブルには豪華な料理、シャンパン、ワイン、クリスマスケーキ等が並べられ皆さん笑顔で歓談されていました。



午後六時から、入居者、愛隣園の子供達によるキヤンドルサービスでセレモニーが始まりました。

三浦一水理事長による「クリスマスのお話し」につづき讃美歌を皆で歌い、各グループによる出し物の披露がありました。毎年趣向を凝らしたもので、とび入りもあるなど、会場はみんな楽しく笑顔で溢れていました。

成人式を迎えて

ケア課

永田 万里

成人式を迎えて、大人の仲間入りをしました。私がこの日を迎えられたのは、父や母をはじめ、たくさんの方々が見守り支えてくださったからだと思っています。ですが、感謝の気持ちを相手に伝えられぬままやり過ごしてしまったこともありました。

これからは、成人としての自覚を常に忘れず「ありがとう」と思うだけでなく、言葉や態度で感謝の気持ちを表現し、大人と認められるよう精進して行きたいと思います。



お知らせ

二月十日(土)、愛隣館にてバレンタイン家族報告会を開催します。

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアピジョンが担っています。